

ルワンダ月報（２０２４年７月）

※以下は、明示的に記載されたものを除き、ルワンダ通信局（Rwanda News Agency）の記事のとりまとめ。

１．内政・外政

- １日、総事業約１億６，５００万ドルの改修工事を終えたアマホロ・スタジアムの落成式が行われた。本スタジアムは国際基準を満たすサッカーコート、ラグビーコート、陸上競技場を有している。
- ７日、ンドゥフンギレへ外務・国際協力大臣は EAC 閣僚会議に出席するためザンジバルを訪問した。滞在中、コンゴ（民）のカザディ外務副大臣（Mr. Gracia Yamba KAZADI）と会談し、コンゴ（民）東部の危機に対する政治的解決の必要性について協議した。
- １５日、全国２４３３カ所の投票所で大統領選挙の投票が行われ、２３日、国家選挙管理委員会（NEC）は、７月１５日に行われた大統領選挙の結果が確定し、ルワンダ愛国戦線（RPF）のポール・カガメ氏が９９．１８％の得票率で勝利したと発表した。他の候補者であったフランク・ハビネザ氏は０．５０％、フィリップ・ムパイマナ氏は０．３２％の得票率であった。
- ２４日、ジャンヌ・ダルク・ムジャワマリヤ氏が説明責任問題を理由に（当館注：同氏は、前環境大臣であり６月１２日に同職に任命されたが、前職就任中のプロジェクトに関して不始末があったとされる）公共サービス・労働大臣の職を解任された。
- ２４日、ルワンダ初の粉ミルク工場の落成式がニャガタレ郡で行われた。本工場では１日あたり４１トンの粉ミルクが生産される（The New Times）。
- ３０日、ルワンダのンドゥフンギレへ外務大臣とコンゴ（民）のワグネル外務大臣は、アンゴラのロウレンソ大統領と会談を行い、コンゴ（民）東部を巡り、２０２４年８月４日午前０時から発効する停戦に合意した。

２．開発協力

- ５日、ルワンダと韓国は開発プロジェクトへの譲許的資金を提供するための、５年で１０億米ドルの枠組み合意に署名した。
- １９日、ルワンダ開発庁（RDB）は保健省等と共に観光、医療、教育、ビジネス分野における二国間協力関係の強化を目的にヨルダンを１週間訪問した。
- ２７日、オリンピック開会式出席のためパリ滞在中のカガメ大統領は、英国のスターマー首相と会談し、貿易、スポーツ、技術、環境保護における二国間協力の強化について協議した。

3. 経済

- 2 日、MTN ルワンダ（ルワンダの大手通信会社）の最高経営責任者は、4 G免許を取得後約 1 年間で 4 G人口カバー率 84.5%となったと発表した。
- 23 日、ルワンダ政府は世界第二位の金属・鉱業企業であるリオ・ティント社と、ルワンダにおけるリチウム、スズ、タンタル、タングステン等の鉱物探査活動、採掘事業で協力することを発表した。鉱業部門は、ルワンダの GDP の約 3%に貢献している。